

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名    |    | クオリティ・オブ・ライフ保土ヶ谷支援教室                                                                                                                                 |      |     |                                                                               | 公表日                                                      | 令和 7 年 4 月 1 日 |
|---------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------|
|         |    | チェック項目                                                                                                                                               | はい   | いいえ | 工夫している点                                                                       | 課題や改善すべき点                                                |                |
| 環境・体制整備 | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                                         | 100% | 0%  | 法定以上のスペースを確保できている。<br>令和6年7月から広い教室に移転した。                                      |                                                          |                |
|         | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。                                                                                                                     | 80%  | 20% | 正社員に加え、パート職員、ダンス講師などを配置している。                                                  | 法定の配置はできているが、十分とは言えない状況になることもある。採用を進めており、令和7年4月から2名配属予定。 |                |
|         | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                                | 100% | 0%  | 玄関はスロープになっており、段差があるところには注意喚起の張り紙をしている。<br>1日の予定をイラストや時計の絵でわかりやすくしている。         |                                                          |                |
|         | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                                | 100% | 0%  | 毎日清掃を行っている。<br>トイレが男女別になっている。<br>防音がしっかりしており、外部の騒音が気にならない作りになっている。            |                                                          |                |
|         | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                                           | 100% | 0%  | 静養スペース・相談スペースがあり、パーテーションで区切ることで個室のように使用することができる。                              |                                                          |                |
| 業務改善    | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。                                                                                                       | 80%  | 20% | 職員間のコミュニケーションがよく取れており、目標や行動の共有ができている。                                         |                                                          |                |
|         | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                 | 100% | 0%  | 毎年事業所評価のアンケートを実施し、保護者面談も年に2回以上行っている。                                          |                                                          |                |
|         | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                               | 100% | 0%  | 職員間でのコミュニケーションはよく取れ、意見の言いやすい環境になっており、業務の分配や改善につなげている。                         |                                                          |                |
|         | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                                     | 60%  | 40% |                                                                               | 現状は職員と保護者の二者での評価となっている。聞き取りをよく行い、業務の改善につなげている。           |                |
|         | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                                    | 100% | 0%  | 法人内で虐待防止や防災などの委員会を開催し、参加・共有することで研修の機会としている。<br>大学等から講師を招き、法人内の全職員向けの研修も行っている。 |                                                          |                |
| 適切な支援   | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                              | 100% | 0%  | こども家庭庁の資料を参考に、支援プログラムを作成している。<br>ホームページ内に公表済み。                                |                                                          |                |
|         | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                                                                               | 100% | 0%  | モニタリングの作成と保護者への個別面談を実施したうえでニーズや課題を把握し、児童にもヒアリングした上で個別支援計画を作成している。             |                                                          |                |
|         | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                                 | 100% | 0%  | 事業所内の全職員でモニタリング表や個別支援計画の作成に携わり、内容を共有している。                                     |                                                          |                |
|         | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                              | 100% | 0%  | 個別支援計画はファイル内および療育支援システム内に保管され、全職員が閲覧できるようになっている。                              |                                                          |                |
|         | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                                  | 100% | 0%  | 法人内で定めた療育支援システムを活用し、日々の児童の様子を共有できている。                                         |                                                          |                |
|         | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 80%  | 20% | 「本人支援」「家族支援」「移行支援」については項目を定めて個別支援計画を作成し、支援内容を設定している。                          | 本人支援が中心になるため、「地域支援・地域連携」については計画として設定できていないものが多い。         |                |
|         | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                               | 80%  | 20% | プログラムごとに担当を決め、担当職員を中心に話し合いを行い内容を決定している。                                       | パート職員には当日まで把握できないことがある。                                  |                |

|              |    |                                                                                    |      |      |                                                                    |                                                                            |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------|------|------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 提供           | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                           | 100% | 0%   | 曜日でカリキュラムが固定されているが、季節感などを取り入れて児童が飽きないようにしている。                      |                                                                            |
|              | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | 100% | 0%   | 集団活動が主ではあるが、状況に応じて個別での活動も行えるよう計画を作成している。                           |                                                                            |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 100% | 0%   | 日々のタイムテーブルを作成したうえで職員間での打ち合わせも行っている。                                |                                                                            |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 80%  | 20%  | 送迎からの帰社後に連絡事項の確認を行い、時間的に難しい場合には翌日以降で情報共有を行っている。                    | 送迎ができる職員が少なく、パート職員は先に退勤することが多い。                                            |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                             | 100% | 0%   | 毎回支援の記録を作成し、職員間で共有している。                                            |                                                                            |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 100% | 0%   | 『少なくとも6か月に1回』の割合でモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。                       |                                                                            |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | 100% | 0%   | 日常生活に即した支援や遊びを通しての自立支援を行うとともに、日々の活動の中で主体的な参画ができるよう促している。           | 『地域交流の活動』にはまだ課題があるが、SSTや生活習慣のカリキュラム等地域交流・参画のための支援を行っている。                   |
|              | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 100% | 0%   | カリキュラムの内容や使用する道具・材料などを児童が相談して選べる機会を持てるようにしている。                     |                                                                            |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 100% | 0%   | 相談支援事業所を利用している児童がいないため、参画できていない。今後、機会があれば児発管が参画の予定。                |                                                                            |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 80%  | 20%  | 協力医療機関を設定しており、有事の際に連絡する体制ができています。                                  | 各利用者が所属している学校とは連絡が取れる体制になっているが、地域での連携はできていない。                              |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 80%  | 20%  | 学校だよりをもとに下校時間を確認し送迎の調整を行っている。送迎が遅れる際の連絡等は都度行うことができています。            | 学校との情報共有については各家庭を通して行っていることが多い。一部、学習面・生活面でもう少し連携を取りたい児童もいる。                |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 60%  | 40%  | まずは保護者からの情報をもとに支援を開始し、必要に応じて連携できるよう体制を整えている。                       |                                                                            |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 80%  | 20%  | 該当者なし。                                                             |                                                                            |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | 20%  | 80%  |                                                                    | 現状は児童発達支援センターとの連携はできていないが、必要に応じて研修参加を行っている。                                |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                             | 0%   | 100% | お出かけカリキュラム等で地域の児童に触れる機会がある。                                        | 地域との定期的な交流はできていない。                                                         |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。                                                            | 20%  | 80%  |                                                                    | 職員の人数や協議会の時間等の兼ね合いでなかなか参加ができていない。今後職員人数が増えた際に参加していきたい。                     |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 100% | 0%   | 保護者と職員とで連絡し合える体制を整えており、送迎の際にも日々の状況をお伝えして共通理解を持てている。                |                                                                            |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | 20%  | 80%  | 活動としてのペアレントトレーニングは実施できていないが、送迎時のフィードバックや事業所内(オンライン含む)相談の時間を活用している。 | 家族の不安や悩みを解消するためにも、もっと家族向けの研修やペアレントトレーニングができると良い。相談会や保護者会など、必要に応じて企画していきたい。 |
|              | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                               | 100% | 0%   | 契約時や重要事項に変更があった際に、丁寧に説明を行っている。                                     |                                                                            |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | 0%   | 個別支援計画作成前に保護者面談を行い、以降を確認している。                                      |                                                                            |
|              | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 100% | 0%   | 個別支援計画を作成した際には、必ず保護者に内容を確認していただき、サインと捺印をいただいている。                   |                                                                            |

|          |    |                                                                                            |      |     |                                                               |                                                                       |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                              | 100% | 0%  | すぐに保護者と連絡が取れる体制になっており、適宜面談を行っています。                            |                                                                       |
|          | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 20%  | 80% | 希望者には支援中の様子を見学していただく機会を作っていた。                                 | 保護者会等の開催を考えてはいるが、実施に至っていない。<br>今後、保護者会・見学会など保護者同士の交流の場を作っていく。         |
|          | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 100% | 0%  | 保護者とのコミュニケーションを取りやすい体勢になっており、ご意見をいただいた際にはすぐに対応ができるようにしている。    |                                                                       |
|          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 100% | 0%  | 毎月、支援の様子や連絡事項を記載したお便りを作成し、配布している。                             |                                                                       |
|          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 100% | 0%  | 個人情報に記載された書類等は鍵付きのロッカーに保管している。                                |                                                                       |
|          | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 100% | 0%  | 見通しを持って行動できるよう、プログラム内容やスケジュールを可視化している。<br>注意事項もよく見える所に掲示している。 |                                                                       |
|          | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | 20%  | 80% |                                                               | 事業所のオーナー様との関わりは稀にあるが、正式に地域との交流や招待などは行っていない。イベントや行事を通して地域との連携を図っていきたい。 |
| 非常時等の対応  | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 100% | 0%  | 各マニュアルを法人で定め、共有している。                                          |                                                                       |
|          | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 100% | 0%  | 法人内で定めた計画を事業所用に編集し策定している。防災訓練も定期的に実施しており、児童の参加・帆小屋への周知も行っている。 |                                                                       |
|          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 100% | 0%  | 契約時に児童の状況を確認するとともに、健康状態等も含まれた基本情報シートの記入をいただいている。              |                                                                       |
|          | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 100% | 0%  | 保護者から丁寧に聞き取りを行い、必要に応じて医療機関との連携を取れるようにしている。                    |                                                                       |
|          | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 100% | 0%  | 事業所内で安全計画を策定している。安全点検表をもとに毎月設備や備品のチェックを行っている。                 |                                                                       |
|          | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 100% | 0%  | 交通ルールや感染症対策など、カリキュラムの一環として実施し、内容を保護者と共有している。                  |                                                                       |
|          | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 100% | 0%  | ヒヤリハットが発生した際の状況をまとめ、以前起きた事例についての説明を丁寧に言い、職員間で情報を共有している。       |                                                                       |
|          | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 100% | 0%  | 気になったことに対しては職員間で相談でき、ともに対応を考えることができている。                       |                                                                       |
|          | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | 100% | 0%  | 契約時に丁寧に説明し、緊急時の身体拘束に関する同意書に署名をいただいている。                        |                                                                       |